

学習指導要領（教科等）における法教育関連記述一覧

NO.1

【視点1】ルールづくり（法の遵守も含む）

平成 19 年 8 月 1 日 細谷作成

教科等	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
生活 社会	<p>（生活）</p> <p>学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。</p> <p>家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。</p> <p>公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</p>		<p>（社会）</p>	<p>（歴史的分野） キーワードのみとする 「律令国家の確立」</p> <p>（公民的分野）</p> <p>家族や地域社会などの機能を扱い、人間は本来社会的存在であることに着目させ、個人と社会とのかかわりについて考えさせる。その際、現在の家族制度における個人の尊厳と両性の本質的平等、社会生活における取決めの重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。</p>
家庭			<p>家庭生活に関心をもって、家庭の仕事や家族との触れ合いができるようにする。</p> <p>近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活について環境に配慮した工夫ができるようにする。</p>	<p>家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を考える。</p> <p>自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した生活を工夫する。</p>
体育 保健体育	<p>順番やきまりを守る。</p> <p>ゲームを楽しむための簡単な規則を工夫する。</p>	<p>順番やきまりを守る</p> <p>チームの課題をもち簡単なゲームを工夫する。</p>	<p>自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりルールを工夫したりすることができるようにする。</p>	<p>（体育分野）</p> <p>チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。</p>
道徳	<p>みんなが使うものを大切に、約束やきまりを守る。</p>	<p>約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。</p>	<p>公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切に、進んで義務を果たす。</p> <p>だれに対しても差別をすることや、偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。</p>	<p>法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。</p> <p>公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。</p> <p>正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。</p>
特別活動	<p>1 学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級を単位として、学級や学校生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を行う。</li> </ul> <p>2 クラブ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、共通の興味・関心を追求する活動を行う。</li> </ul> <p>3 学校行事</p> <p>（健康安全・体育的行事） 例：「非行防止教室」「交通安全教室」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う。</li> </ul> <p>（遠足・集団宿泊的行事） 例：「移動教室」「修学旅行」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う。</li> </ul>			<p>1 学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級を単位として、学級や学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行う。</li> </ul> <p>2 学校行事</p> <p>（健康安全・体育的行事） 例：「非行防止教室」「交通安全教室」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う。</li> </ul> <p>（旅行・集団宿泊的行事） 例：「移動教室」「修学旅行」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う。</li> </ul>

学習指導要領（教科等）における法教育関連記述一覧

NO.2

【視点2】私法と消費者保護（契約等）

平成19年8月1日 細谷作成

教科等	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
生活 社会	（生活） 自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。	（社会） 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携っている人々の工夫を考えるようにする。	（社会）	（公民的分野） 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の動きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。 国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせる。その際、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、 <u>消費者の保護</u> 、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解させるとともに、限られた財源の配分という観点から財政について考えさせる。
家庭			身の回りの物や金銭の計画的な使い方を考え、適切に買い物ができるようにする。	販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
道徳				
特別活動				

学習指導要領（教科等）における法教育関連記述一覧

NO.3

【視点3】憲法の意義

平成19年8月1日 細谷作成

教科等	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
生活 社会	(生活)	(社会)	(社会) 日本国憲法は、国家の理想、 天皇の地位、国民としての 権利及び義務など国家や国 民生活の基本を定めている こと。	(歴史的分野) キーワードのみとする 「大日本帝国憲法の制定」「我が国の民主化と再建の過程(日本国憲法の制定)」 (公民的分野) 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせるとともに、法の意義に着目させ、民 主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本 国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊 重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民 統合の象徴としての天皇の地域と天皇の国事に関する行為について理解させる。
家庭				
道徳				
特別活 動				

学習指導要領（教科等）における法教育関連記述一覧

NO.4

【視点4】司法（裁判員制度等）

平成19年8月1日 細谷作成

教科等	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
生活 社会	(生活)	(社会)	(社会)	(公民的分野) 法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治を推進するためには、公正な世論の形成と国民の政治参加が大切であることに気付かせる。
家庭				
道徳				
特別活動				